

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-133838(P2003-133838A)

【公開日】平成15年5月9日(2003.5.9)

【出願番号】特願2001-326551(P2001-326551)

【国際特許分類第7版】

H 01 Q 5/01

H 01 Q 1/36

H 01 Q 1/38

H 01 Q 9/36

【F I】

H 01 Q 5/01

H 01 Q 1/36

H 01 Q 1/38

H 01 Q 9/36

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月20日(2004.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信や放送の送受信に用いられるモノポールアンテナに係り、特に、車載用や携帯用として好適なモノポールアンテナに関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来のモノポールアンテナは、ロッド状の放射導体の全長が1/4なので、例えば携帯電話に多用されている800MHz帯域の電波の送受信を行う場合、全長が10cm近い放射導体が必要となり、車載用モノポールアンテナとしては高さ寸法が大きすぎるという問題があった。しかも、この種のモノポールアンテナは共振周波数帯域が狭く、特定の周波数付近の電波に対してだけ共振するので、受信しようとする電波の周波数にはらつきがある場合、感度が極端に低下してしまう恐れがあった。